

東日本大震災 いのりのもしび 祈りの灯火 2014 ～想いつないで～



photo: 祈りの灯火 2013 ～心ひとつに～

ご挨拶

東北沿岸部に甚大な被害をおよぼした東日本大震災からまもなく3年になろうとしています。岩手県をはじめとする被災県はいまだ被害の爪跡は残っていますが、復興に向けて踏み出しています。しかし、時間と共に風化が進んでいることも、事実です。

その一方で、各地でさまざまな災害が起き、岩手県内陸部も昨年8月に台風による大きな被害を受けました。東日本大震災で犠牲になられた方々を追悼し、またあの震災で経験した想いを、日本各地へ、そして未来へとつないでいくために、3度目の祈りの灯火を開催します。多くの灯笼をお寄せいただくと共に、会場まで足をお運びいただけますよう、よろしくお願いたします。

祈りの灯火実行委員長 立花 有彩 (岩手県立大学2年生)

■日時／3月9日(日) 17:00～19:00 会場／盛岡城跡公園内 もりおか歴史文化館前 ※雨天中止
会場では県内で活動する音楽関係者による演奏や、ボランティア団体による展示・販売も行われます。
出演：不來方高校音楽部・大宮中学校吹奏楽部・光・ネネム ほか

■日時／3月11日(火) 13:30～17:00 会場／盛岡市民文化ホール(マリオス)
盛岡広域首長懇談会による追悼式典が開催されている会場内において500個の灯笼にあかりを灯します。

主催／盛岡広域首長懇談会 共催／祈りの灯火実行委員会
お問い合わせ／もりおか復興支援ネットワーク

TEL&FAX: 019-613-8817 MAIL: morioka.fnet@gmail.com

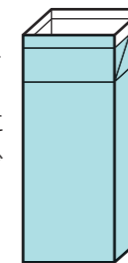


牛乳パック灯笼の作り方

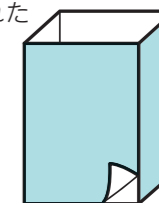
灯笼の作成方法や牛乳パックのはがし方などの動画が祈りの灯火ホームページでご覧いただけます。

用意するもの 牛乳パック・カッター・鉛筆・定規・不要になった雑誌1～2冊

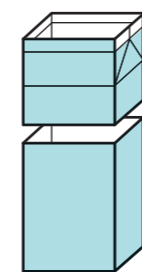
①空になった牛乳パックをきれいに洗い、図のように完全に口を開いて乾燥させる。
※低温殺菌牛乳や高濃度の牛乳は、内側に乳脂肪が付着しているので熱湯ですすぐとよい。



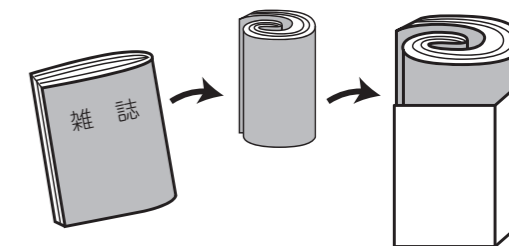
④切込みを入れた角から、印刷された表面を少しずつはがしていく。
底ははがさなくてよい。
※パックの紙は何層かになっているが、一番上の層だけをはがす。



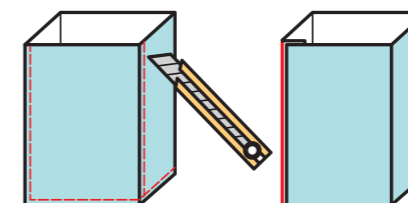
②底から14cmの高さにカットする。



⑤雑誌を丸めてパックの中に詰める。
カッターマットの役目になるのでパンパンになるくらいがよい。



③四つ角と底辺の四方にカッターで浅く切り込みを入れる。
※合わせ目のところはギリギリの位置に入れる。



⑥表面に好きなイラストやメッセージを描いたり、カッターで切り抜いたりする。
※穴が大きすぎると火が消えやすいので注意。
※模様はペンで文字や絵を描いたり、切った色紙やセロファンなどを貼ったりしてもよい。



⑦雑誌を抜いて完成。

灯笼製作会を下記日程で開催しています。

- ①2/15(土)・16(日) 10:00～16:00...川徳デパート(盛岡市菜園)
- ②2/19(水) 19:00～21:00...アイーナ 団体活動室3(盛岡駅西口)
- ③2/22(土)・23(日) 10:00～16:00...イオンモール盛岡(盛岡市前湯)
- ④2/26(水) 19:00～21:00...アイーナ 団体活動室3(盛岡駅西口)
- ⑤3/1(土)・2(日) 10:00～16:00...クロステラス(盛岡市大通3丁目)

参加費無料。
土日の制作会は「まわり灯ろう」も作成可。ただし、材料費として1個500円必要です。



詳しくは<祈りの灯火 ホームページ>まで

<http://inorinotomoshihi.jimdo.com/>

